

# ふれ愛だより

第29号

2006年3月

独立行政法人 水資源機構  
小石原川ダム調査所  
発行人 山本 力

## ふれ愛メッセージ

### 新春のご挨拶



独立行政法人水資源機構  
小石原川ダム調査所長

やまもと ちから  
山本 力

年末年始は、厳しい寒波に見舞われておりますが、皆様におかれましては、どのような新年をお迎えのことでしょうか。

さて、昨年4月には、筑後川水系水資源開発基本計画（略称フルプラン）の全面改定がなされ、小石原川ダム建設事業が、平成27年度完成を目指す水資源機構事業として位置付けられました。現在、小石原川ダム建設事業の事業実施計画の認可手続きを進めており、昨年9月に関係利水者の負担の同意、12月8日に福岡・佐賀両県の同意を頂きました。翌12月9日に水資源機構より国土交通大臣に認可申請を行いました。現在、大臣の認可を待っているところです。本年は、いよいよ建設に着手していくこととしております。

さて、昨年6月の空梅雨によりまして、筑後川流量が減少し、農業用水の厳しい調整を余儀なくされました。また、9月の台風14号による風水害では、九州東部地域に1300mmを超える降雨があり、五ヶ瀬川や大淀川等に甚大な被害が生じました。最近の気象・水象現象は、過去よりも激しく変動していると感じられます。

小石原川ダムは、既設江川ダム及び寺内ダムと連携した操作により新たに福岡県南地域に水資源を供給し、小石原川・佐田川・筑後川の不特定用水を補給すると共に、渇水時の緊急水を補給する渇水対策を目的とするものです。さらに、現在利水専用の江川ダムしかない小石原川のために洪水調節容量を確保して、小石原川沿川の洪水を防御するものです。

このように、小石原川ダムは、筑後川流域や地元甘木市にも効果を有する事業であります。ダム建設により多くの方々が移転を余儀なくされたり、導水により流量が減る地域が生ずることとなります。水資源機構といたしましては、これら関係の皆様に対し理解と協力を頂きながら、ダム建設事業に取り組んでまいります。

最後に、今年一年が皆様にとりまして幸多き年であることをお祈りするとともに、小石原川ダム建設事業への変わらぬご支援・ご協力をお願いして、新年のご挨拶といたします。



# ふれ愛 インフォメーション

## 小石原川・佐田川ノーポイ運動

筑後川ノーポイ運動の一環として、小石原川・佐田川ノーポイ運動が12月8日に実施されました。この清掃活動は甘木市漁業協同組合と水資源機構が共催して河川の清掃を実施するものであります。

小石原川ダム調査所の職員もこの清掃活動に参加しました。当事務所職員の作業場所は江川山荘から江川ダム管理所までであり、その間を入念に実施しました。

最近、環境に対する意識が高まっているせいか回収したゴミの量が予想よりも少なく、近年の環境に対する意識は確実に高まっているという印象を受けました。

河川美化啓発活動の一定の効果に満足することなく、今後とも活動を強化する必要があると思います。

### 参加団体名

甘木市水道課、福岡市水道局、国土交通省筑後川河川事務所、  
両筑土地改良区、甘木市漁業協同組合  
水資源機構【筑後川局・両筑平野用水管理所(江川ダム)・  
筑後川下流用水管理所・小石原川ダム調査所】



### 最近の動き



1月 4日 仕事始め  
1月18日 甘木市官公庁連絡協議会出席  
1月20日 ISO14001内部監査  
1月23日 水没協懇談会  
1月25日 甘木市ダム対策委員会  
1月26日 佐田川取水対策委員会

1月26日 第2次筑後川流域1万人会議出席  
1月28日 筑後川シンポジウム出席  
1月31日 第2次筑後川流域1万人会議出席  
2月 1日 第2次筑後川流域1万人会議出席  
2月 2日 筑後川局管内「人権」・「セクハラ防止」に関する研修会  
2月15日 甘木市官公庁連絡協議会出席

## ISO14001(環境マネジメントシステム)の 認証取得に向けた取り組み

ふれ愛だより28号でお知らせしましたが、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築や、地球環境保全に資することが、当機構の社会的責務であるとの認識に立ち、昨年10月よりISO14001(環境マネジメントシステム)の認証取得に向けて、取り組みを開始しました。

紙・電気の使用量の削減、ごみの分別廃棄といった身近なところからの取り組みは当然ですが、まずISO14001の社内勉強会を実施しました。

そこで小石原川ダム調査所では、以下の環境目的・目標を掲げました。

### 1. 水源地域における保全活動の推進

- ①環境影響評価書に基づき実施する「環境保全措置及び環境への配慮」を行う上で必要となる調査・研究を行う。また、調査の実施状況について公表する。

### 2. 河川環境保全活動の推進

- ②社外に向けた河川環境保全に関する啓発活動を行う。
- ③職員に対し環境学習会を年2回実施する。
- ④環境美化活動に参加する。(年3回以上)

- ・有明海クリーンアップ
- ・筑後川ノーポイ運動
- ・小石原川・佐田川

#### 清掃活動

この4つの目的・目標を果たすべく、事務所職員一丸となって取り組んでいるところです。

それから、認証を受けるにはISO14001文書の作成が必要となりますので、その作成に着



環境学習会

手したのですが、これが環境に負荷をかけない作業手順とか、緊急事態の対応をまとめた「手順書」といった文書を相当数作成することになりました。

環境に関連する様々な法令の遵守(コンプライアンス)、環境情報の発信などISO14001の認証取得には、まだまだやるべきことがたくさんあります。

しかし、この取り組みで一番大切なことは、事務所職員の環境に配慮する意識を高揚させることにあります。

皆さんも是非地球に優しい環境づくりにご協力ください。

# ふれ愛 インフォメーション

## 各課紹介【調査設計課】

調査設計課の業務は、小石原川ダム建設事業に関する技術的な調査・設計を担当しています。

スタッフは総括である課長を筆頭に、予算管理、事業計画及び環境対策、道路計画、地質の各担当職員5名と、技術補助2名事務補助2名の総勢10名です。

担当職	氏名
課長	成富
予算管理	川野
事業計画・環境対策	島田・関根
道路計画	小川
地質	西中間(関根)
技術補助	國吉・渡辺
事務補助	岩崎・村上



成富秀樹 (調査設計課長)



西中間茂徳 (地質担当)



川野睦也 (予算管理担当)



小川直人 (道路計画担当)



関根隆好 (環境保全担当)



國吉 栄 (現場技術業務)



渡辺英明 (現場技術業務)



村上四季 (業務委託)



岩崎祐子 (業務委託)

## 編集後記

当事業の実施計画調査から12年を経過し事業実施計画の認可申請に辿りつくことができました。関係機関・関係の皆様のご理解とご協力の賜です。

今年は、本格的なダム建設になる第一歩の年になります。

この冬は近年にない厳しい寒さとインフルエンザが流行しています。皆様も体調管理には十分に気を付けて下さい。

「ふれ愛だより」では皆様からのご感想やご意見・ご質問など心よりお待ちしております。

## アクセス



公共交通機関  
電車：西鉄甘木線  
甘木駅より徒歩1分  
甘木鉄道  
甘木駅より徒歩2分

水がささえる豊かな社会



独立行政法人 水資源機構 小石原川ダム調査所

〒838-0068 福岡県甘木市大字甘木1187

☎0946 (22) 7000 0946 (22) 7055

<http://www.water.go.jp/chikugo/koishi>

